

三菱商事の社員の方々の海外生活のお話は貴重なものでした。外国に行かれた目的は様々だと思いますが、皆さん失敗を恐れず挑戦することは大切だと何度も話されていました。

一年たったらもう会うことはないのだから、失敗しても挑戦してみてもよかったという社員の方の留学のお話、特に共感できました。私は中学生の時、10日ほどアメリカで現地の子供たちとキャンプをしました。それまで英語で話すことは続けていましたが、いざ異国の地で話すとなると、緊張したり恥ずかしかったりして、ほとんど話し出せなかったのを覚えています。しかし、何のために海を渡ったのかと思うと、もっと話してみようという気持ちになりました。会話をすると、恥ずかしいことは何もなく、反対にたくさん会話をしたほうが楽しいということを知りました。使えた英語は簡単なものばかりでしたが、勇気をもって話してよかったと思っています。

また、留学を通して、互いを理解し合い、日本と海外の文化・習慣の違いに気づくことが大切だというお話に、機会があれば再び海外を訪れたいと思いました。外国を知ることは、自分が知らない日本のことを学ぶ機会にもなります。グローバル社会がどんどん進む中、日本にも多様な文化が入ってきていますが、伝統的な文化を守り継いでいくことが必要だと思います。外国人は自国の文化を自分なりによく理解していて、尊重しているのだと感じました。

そして、海外に滞在することは英語を主とした語学力が必要になります。海外に行くからには、現地でたくさんの経験を通して、たくさんの人と交流を深めるほど、帰国して生活していくうえで糧になると思います。目先のことだけを考えがちですが、試験のためだけの勉強ではなく、自分の経験につながるものとして学んでいくことも大切であると、改めて感じました。

今回、三菱商事を訪問させていただき、また、本社で働く社員の方々、ディレクトフォースの方々のお話を伺って、今後の高校生活、将来に向けて目標ができました。一つは、引き続き英語の勉強をすることです。学生であるからには、勉強することが当たり前ですが、目先の勉強だけにとらわれず、将来を意識して、コミュニケーション能力を少しずつでも高めていきたいと思いました。班で社員の方とディスカッションをしたとき、しっかり話を伝えられない時もあり、コミュニケーションの大切さを痛感しました。社会の中では、交渉力、自分の意見を正しく伝えることが大切であるというお話がありました。私は、人見知りで、会話を続けるのがあまり得意ではありません。そんな中でも話を最後まで聞いてくださり、本当に嬉しく思いました。お互い良い雰囲気です話するためにそれをされているのは、些細なことだと思いますが、大切な心づかいだと感じました。私も人が話しやすい雰囲気を作り出すことを心がけようと思います。

また、二つ目に何事も根気強く続けることです。苦手なことでも挑戦することが自分の経験値を上げると思います。積極的に取り組むことで新しい自分に会えるかもしれない、このことを実感した訪問でした。失敗を恐れず挑戦できることは人生の中で、学生時代という短い間の中だけかもしれません。興味を持ったことは何でも取り組んでみる、このことを心に刻んでいこうと思います。

三つ目として周りを見る力を養うということです。社員の方は、部活動を通して、部員全員で同じ目標に向かうことで、周囲への気遣いを学ぶことができたとおっしゃっていました。周囲を気にしすぎることもあまり良いことではないですが、仲間を通して自分を見つめ、向上させ、または改善させていくことは、生きていくうえで大切なことではないかと思いました。

日本の流通を支える三菱商事の本社の方々、ディレクトフォースの方々の普段伺うことができないお話を聞き、またとない貴重な経験となりました。そして、今自分がすべきことをたくさんつかむことができました。目の前の大学しか考えられなかったのが、卒業後の就職についても考えさせてくれる訪問となりました。

東京大学、大学院の学生の方と出会い、思考スピードが本当に早いということを最初に感じました。私たちがどのようなことを質問しても的確なアドバイスや答えをくださり、短い間でしたが、勉強になった時間でした。お話を聞いた皆さんは、常に自分がベストな状態でいられるよう、真摯に自分と向き合っていたことが印象的でした。例えば、自分の睡眠について研究されたり、遊ぶ時間を細かく決めたりと様々なことに及んでいました。そんな中でも、部活に真剣に取り組み、仲間を意識して勉強していたという話もありました。できるだけ早く自分を知ることで、時間の使い方が上手になっていくのではないかと思います。

自分自身を常に高めていき、何事にも真剣に取り組むことが、将来につながるということを早く知るほど、良いのだと実感しました。そのためには、受け身になっているのではなく、主体的に行動しなければならないとおっしゃっていました。いろんな人の話を参考にしながら、自分がやりたいこと、自分に必要なことを、たくさんの経験を通して見つけていきたいと思います。

東大のいいところは、と聞くと皆さんそろって、「ひと」がいいとおっしゃいました。自分を高めてくれる存在があるのは、常に刺激をもらい楽しいことだと思います。今私にできることは、二高という恵まれた環境で、ともに過ごしている友達、同級生とたくさん話して、自分にはないものを取り入れていくことです。中学校まででは出会えなかった同級生の存在に気づき、改めて二高の魅力を感じます。

将来の進路を決めて、それを実現していくまで、ぶれないモチベーションを一つでも持つといいとおっしゃった方もいました。大学で何をしたいかだけでなく、大学卒業後、就職してどのような生活を送りたいか、将来の自分を想像することで、そのために今勉強をしているのだというモチベーションを持ち、その気持ちを落とさないというお話でした。

三人の東大生の方にお話を聞きましたが、一言に東大生といってももちろん皆さん違った価値観を持っていて、その一言一言に刺激を受けました。身近で東大生のお話を直接聞けることはほとんどありません。このような機会を持てたことをうれしく思います。

この二日間積極的に、自分から学ぼうという意識を持って行動することが、自分を高めてくれるのだと再確認した訪問でした。何事にも全力で取り組むことで、初めてまた新たな目標ができると思います。勉強だけでなく、部活動、友達と過ごす時間など、そのときの時間をなんとなく過ごさない、もう少し頑張ってみようという向上心を持つ、これは簡単そうで意識をしないといけません。繰り返しになりますが、二高で出会う人は高校生活を、あるいは将来に向けてより充実したものにさせてくれると思います。自分を意識しつつ仲間を尊重することは社会に出ても大切になってきます。



高校生になって8月まで長いようであつという間に過ぎてしまいました。自分の進路を決めて大学受験までを考えると想像より長くはないと思います。しかし、その中でも様々な経験を通し自分が興味を持てるものを見つけていきたいです。そのために今回学んだ、周りの人の考えを参考にしつつ主体的に行動して行くことを常に意識して行動していこうと思います。

ありがとうございました。